

きずな



北九州市立折尾西小学校

学校だより 6月号②

令和元年6月18日(火)

校長 成重純一

大雨への対応

6月15日(土)の朝に大雨が降ることが予想されたため、市内一斉の臨時休校となりました。(土曜日授業のある小中学校や部活動のある中学校が対象)緊急メールの確認と対応ありがとうございました。

新聞でも取り上げられていましたが、昨年度の混乱を教訓にして、本年度からは、北九州市全体で、次のように臨時休校判断の基準を統一しています。

<台風>

教育委員会は、前日13時までに一斉休校の判断を行う。

<局地的な大雨>

教育委員会から受けた情報を参考に、各中学校区で連携し、各学校が当日の6時から7時の間に、休校の判断を行う。

※ 大雨であっても、特別警報の発令が予想されるなど大雨の影響が広範囲に及ぶおそれがある場合は、教育委員会が、当日6時までに一斉休校の判断を行う。

今回の判断は、子どもが下校した後、教育委員会の指示により、前日の夕方となりました。このようなこともありますので、今後もメールの着信に気を付けていただくとともに、アドレス変更があった場合は、いっせいくんの再登録をお願いします。また、5月号②でも書いたように、メッセージを読んだら、必ず最後にある開封確認のページにアクセスするようにお願いします。

休校の決定をしても、当日になって、意外に雨や風が弱く、「これなら登校できたのに。」と思うこともあります。しかし、その後の天候の変化は、正確な予想はできません。当日、一時的に登校可能な天候になっても、休校の措置を変更することはありませんので、よろしく願いいたします。

シミュレーション研修

昨年度から、本校では、養護教諭が企画した「シミュレーション研修」を行っています。これは、授業中に子どもが倒れたという場面を想定して、各教職員が役割に応じた動きを実際に演じることを通して学ぶ研修です。昨年度は、「プールで子どもが溺れた。」という設定。本年度は、「子どもが熱中症により運動場で倒れた。」という設定で行いました。

体育館で、「第一発見者」「職員」「消防隊」等、ビブスを付けてシナリオに沿って進めました。私も校長として、119番を呼ぶように教頭に指示したり、AEDを持って現地に行くように教務主任に指示したりするなど、実際に声に出して動きました。通報から救急車が到着するまでの時間は、平均8分間と言われているので、関係職員が胸骨圧迫と人工呼吸を8分間は続けるようにしました。想像以上に長く感じられました。

これからプールを使った学習が始まります。実際には、このような研修の成果を使わなくてよいように、教職員一同、気を引き締めて指導に当たります。

